

～治水記念館施設見学会を実施しました～

— 福知山河川国道事務所 —

○平成16年10月20日に日本に上陸し、大きな被害をもたらした台風第23号の発生から20年目の節目となる令和6年10月20日（日）、由良川減災対策協議会では、かつての災害を忘れず、水防災意識社会の再構築を図るため、「NIPPON防災資産」に認定された福知山市治水記念館にて、実際の被災状況写真や雨量・水位データ等を交えて当時の浸水被害規模や浸水区域をわかりやすく紹介するとともに、施設内設備の紹介や浸水VRシミュレーションの操作体験等を含めた施設見学会を実施しました。

○参加者の皆様には、当時の被害状況やこれまでの水害対策の歴史、また浸水VRシミュレーションを用いた想定される浸水被害の視覚体験を通じて、自然災害のリスク・防災の重要性を再認識頂きました。

【概要】

○日時：令和6年10月20日（日）

10：00～16：00

○参加者：22名（16組）

○場所：福知山市治水記念館

※令和6年9月5日
NIPPON防災資産認定



「水位モニュメント」で過去の水害の最高水位を確認



パネルを用いて当時の浸水被害状況を解説紹介



洪水時、荷物を持ち上げる「タカ」を体験



浸水VRシミュレーション実際の画面例



治水記念館裏の「岩沢堤」にて、治水事業の歴史を説明



浸水VRシミュレーション操作体験

浸水VRシミュレーションは初披露でしたが、参加頂いた皆様からご好評頂きました！



【参加者の感想】

- ◆過去の災害を風化させず、防災意識を向上させる非常に有意義なイベントだった。
- ◆治水記念館の施設や河川整備の歴史についても質問できて良かった。
- ◆浸水VRシミュレーションを体験してみて、実際の浸水速度が想定より早かったため、危機意識を持った。是非色々な方に体験して頂きたい。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 流域治水課
〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 0773-22-5104（代表）

水防災意識社会
再構築ビジョン

